

(様式1)

矢教第102005号

令和7年7月11日

文部科学大臣 殿

矢板市長 森島 武芳

施設整備計画の事後評価について

学校施設環境改善交付金交付要綱第9に基づき、下記のとおり施設整備計画の目標の達成状況に係る評価（事後評価）の結果を報告します。

1. 施設整備計画の名称

矢板市公立学校等施設整備計画

2. 計画期間

令和6年度（1年間）

(担当)

矢板市教育部教育総務課

住所：栃木県矢板市矢板106-2

電話：0287-43-6217

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和7年5月

(2) 評価の方法

教育委員会で事後評価を実施するとともに、別途、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等で学校施設利用者(教職員等)から意見及び評価を求めることとしている。

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標は達成できた。
本市では、学校施設等長寿命化計画を策定し、その中で施設の老朽化状況に応じて、適切な時期に適切な改修を行うこととしている。本整備計画の事業について計画通り実施したことで、学校施設の長寿命化やバリアフリー化の推進を図ることができた。
また、学校施設利用者(教職員等)からの意見聴取にて、施設の環境向上により、良好な意見を得た。

5. 各目標の達成状況

(1) 老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

矢板中学校屋内運動場において長寿命化事業として、屋根・壁など外壁の改修に加え、内部照明器具のLED化及び塗装工事を行った。また、トイレについては、洋式化及び乾式化を行い、多目的トイレを設置するなど、老朽化対応の他に避難所施設としての改修が実現した。

(2) 新時代の学びを支える安全・安心な教育環境の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(3) 教室不足の解消等を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(5) 施設の特徴性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	整備方針				事業完了 年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
		事業単位	建物 区分	構造 区分	全事業期間 (契約～完成)			
矢板中学校	(1)	長寿命化改良事業	屋	S	R6.9～R7.3	R7.3.10		